

「政策市場」の創造に向けた 次なる一歩

Crossover Vol.5
2006年6月3日(土)

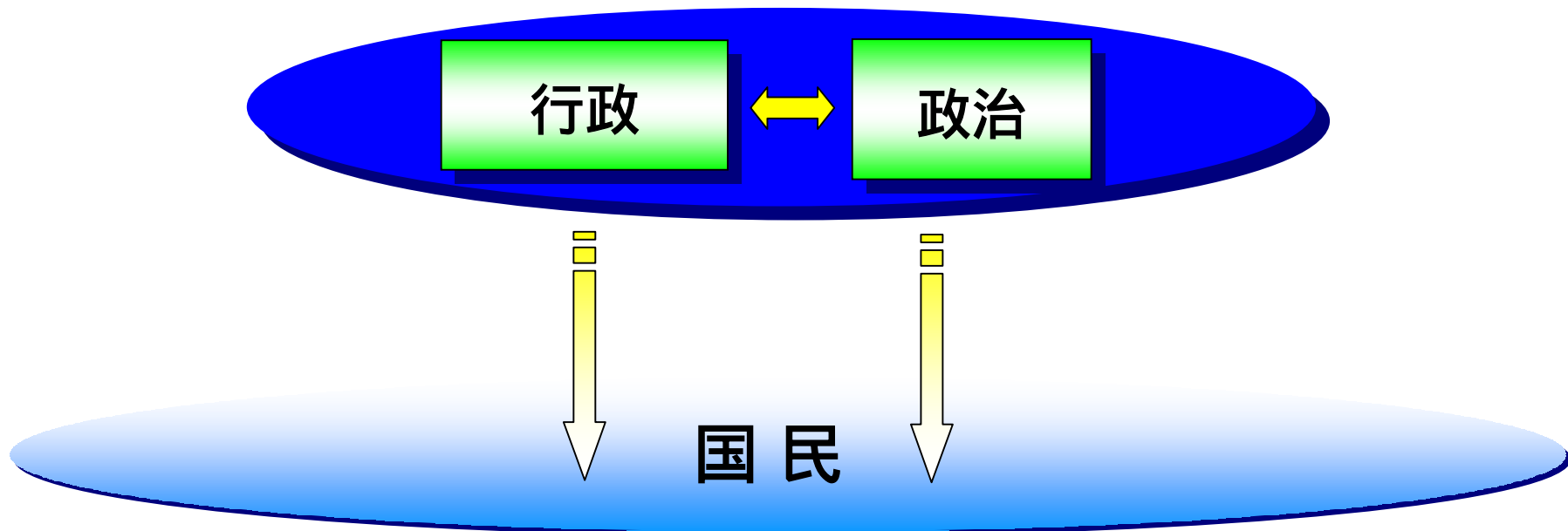


Executive Summary

- 1. 「政策市場」とは？**
- 2. なぜ今、「政策市場」が必要なのか？**
- 3. どうすれば、「政策市場」は実現するのか？**
- 4. 「政策市場」の実現に向けた次なる一步は？**

1. 「政策市場」とは？

これまでの「政策」の印象…

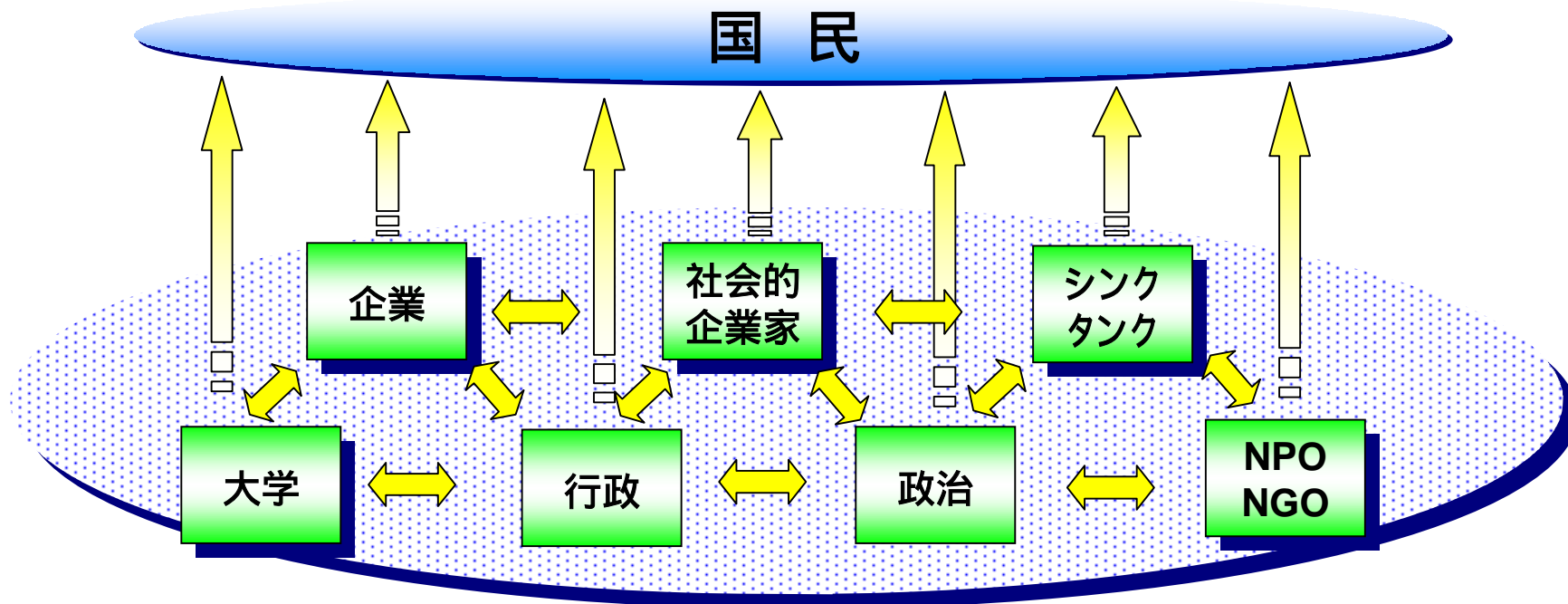


政府だけが作るもの

選択の余地無く、政府から与えられるもの

1. 「政策市場」とは？

Crossover21が目指すこれからの政策のあり方とは…



よりよいアイデア・人財を巡る競争の中で創られるもの

多様な主体の間の協働の中で創られるもの

多様な選択肢の中から国民によって選ばれるもの

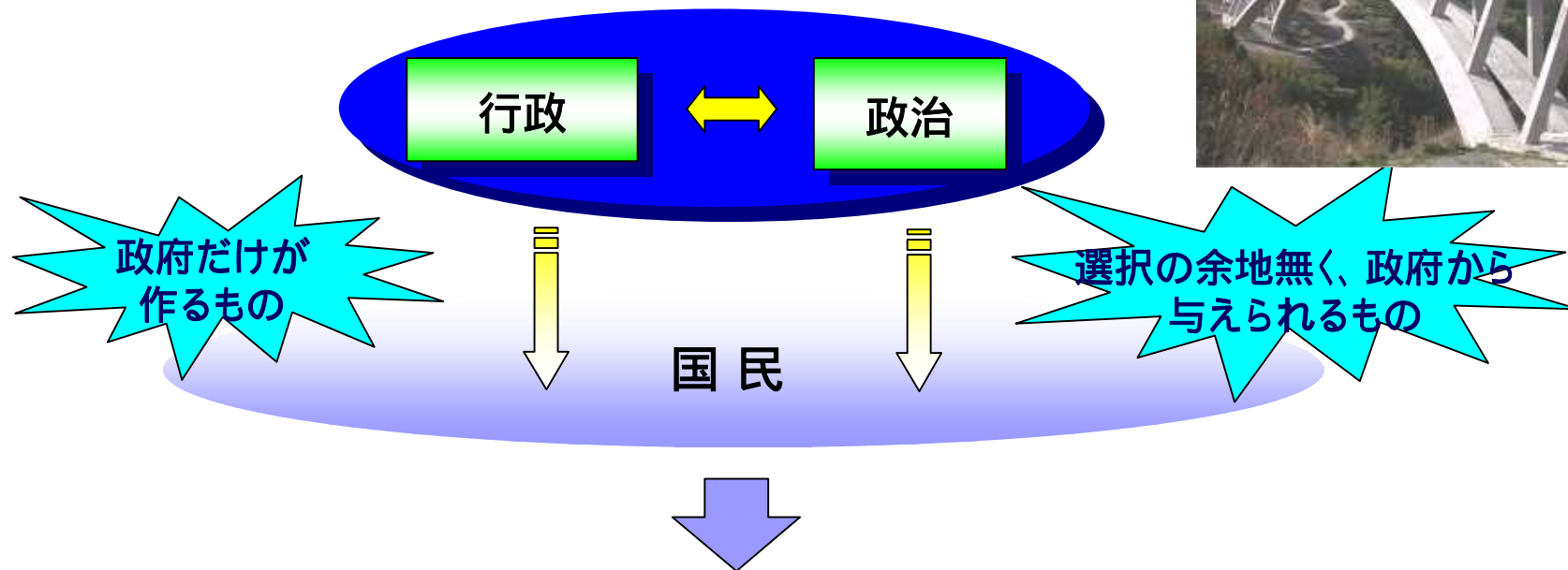
そんな政策創りを可能とするダイナミックで広がりあるフィールド…

それが、Crossover21が目指す
「政策市場」

1. 「政策市場」とは？

公共事業を例に考える・・・

これまでの公共事業
といえば・・・



画一的・硬直的な事業

利用者(住民)ではなく、供給者(政府・建設会社)の視点に立った事業

国民の政府への依存心を助長する事業

1. 「政策市場」とは？

政策市場を通じた
公共事業とは…

享保4年(1719年)

「永代橋」改修事業に見る「政策市場」

洪水で一部が破損し、著しく劣化した永代橋の改修を、江戸の町民は幕府に陳情。

↓ しかし…

幕府は財政難を理由に、改修工事を拒否、橋の取り壊しを決定。

↓ そこで…

町民の代表たちは、自分たちで修理をするかわりに、橋の権利を町人に譲渡して欲しいと申し出、幕府がそれを許可。

↓ そして…



住民代表は、“永代橋再建実行委員会”のようなものを結成し、まず危険な状態にある永代橋の通行を禁止して、渡し舟に切り替え、その渡し賃を橋の工事費へ充当。さらに、橋の完成後、通行者から一人二文の橋通行料を徴収し、それを工事費の返済へ充当。それ以来、永代橋は有料橋として、橋の維持管理は町人負担となった…

2. なぜ今、「政策市場」が必要なのか？

少子化・高齢化・グローバル化・技術革新の急速な進展による、経済・社会問題の高度化、変化のスピードの高度化

一人一人の「生き方」「家族観」「職業観」、そして、各地域のおかれる状況、直面する問題の更なる多様化

持続可能性が危ぶまれる、国・地方の厳しい財政状況

経済・社会の急速な変化

多様な人財・組織の協働と競争

問題意識の共有

社会のニーズと変化に対応した公共政策・サービス

幅広い、厚みのある「公」の精神

政策市場

3. どうすれば「政策市場」は実現するのか？

ムーブメントはすでに、全国各地で始まっている…



4. 「政策市場」の実現に向けた次なる一步は？

1st Step - Listen & Think-

様々な分野で「新しい政策創り」「社会創り」に取り組んでいる“挑戦者”の苦勞と喜び、失敗と成果に耳を傾ける

2nd Step -Ask & Discuss-

- どうすれば、より多くの、そして多様な人財や組織が「新しい政策創り」「社会創り」に挑戦することが出来るのか？
- 挑戦を単発ではなく、持続的なものとするにはどのようなサポートが必要か？
- 一度失敗した後、再挑戦するには、どのようなサポートや制度が必要か？

3rd Step -Act & Cooperate -

政策市場の創造に向けて...



To be continued to our discussion...